

三小タイムズ

令和2年7月15日発行 校長 辻 久恵

道徳科授業（2年3組）

主題名 してよいこと、いけないこと

教材名 つのがついた かいじゅう 出典 光村図書

内容項目 A 善悪の判断、自律、自由と責任

本時のねらい

他人の粘土作品を勝手にいじった たくみ君の姿を通して、してよいことと悪いことを区別し、よいとおもうことを進んで行おうとする実践意欲と態度を養う。

学習の展開

○本時のねらいを知る。

- ・教師の話聞き、自分たちにも似たような経験がないか振り返る。

してよいことと、わるいことは、どのように分けたらよいのか考えよう。

○教材「角がついた かいじゅう」を聞く。

○教材の内容について話し合う。

- ・のりお君の作品に角をつけている時、たくみ君はどんなことを考えていたでしょうか。〈すっきりメタの活用〉
☆ほめてもらえるかな。 ☆のりお君喜ぶかな。
☆のりお君のために！ ☆自分はいいことをしている。
- ・たくみ君はどんなことにきがついたのでしょうか。〈すっきりメタ〉
☆やっぱりだめだったのだ。 ☆悲しませちゃったのかな。
☆やっていいことと、だめなことが分かった。
☆自分にとってよくても、人にとっていやなことなのだ
☆だめだった。人の気持ちを考えてなかった。
- ・「つなげよう」の事例で、どういった行動がしてよいことか悪いことかについて考える。

○本時の学習を振り返る。

- ・ワークシートに自分が学んだことを書き、発表する。
- ・学級としての本時のまとめをする。

「してもよいことと、してはいけないことを考えることが大切」

毎時間「学級としてもまとめ」を掲示することで、道徳の足跡を残しています。日常生活の中で、「道徳の時間に〇〇についてお勉強したよね」という子どもの声を聞くこともできます。



